



三徳開教110年

平成30年

12月号

No.590

法音



今月の
法話

運命は自分から作り、
幸福は自分から求めるもの

③

日蓮宗

法音寺





知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
 受けた恩に感謝しましょう。
 恩を忘れぬ人は信頼されます。
 今日一日、
 人に親切にしましょう。
 人が喜び、自分もうれしい。
 仏の教えは
 知恩報恩の人となることです。

月刊・法音

平成三十年十二月号「590」

■目次■

【信仰の指針】謙徳けんとく ゆずる心がありますか 1
 【朝のこない夜はない】
 運命は自分から作り、幸福は自分から求めるもの③

山首 鈴木正修

特集

法音寺瀬戸布教所 三徳布教の新本堂落慶

16

頭修院日達上人の御祥月命日法要が執り行われます

19

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

20

修養手帳2019 まんが・雪山童子

22

雪山童子に学ぶ

23

とこのはの記 衣・座・室

31

全山一斉清掃奉仕の日

34

のりのね体験 いま・昔

38

第36回御法推進全国大会

42

のりのとも 西に東に 転法輪・支院だより

46

福祉に生きる 児童養護施設・名古屋若松寮の実践

52

日本福祉大学付属高等学校創立60周年記念式典

88

法音寺からのご案内

96

賛助員ご芳名

98

幸せの種まき／編集後記

99

連載まんが・ひまわり・71 ジョンの思い出

100

書籍のご紹介

101

法音寺の社会福祉・教育事業

109

表紙題字・信仰の指針

山首上人さま 書

表紙写真・ポインセチア

掲載写真

表紙・信仰の指針・3～15頁・19頁

梅田雅臣氏撮影

2頁…加納将人氏撮影

信仰の指針

謙徳

けん

とく

ゆずる心がありますか

日教五



白ナンテン



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

運命は自分から作り、

幸福は自分から求めるもの ③

10月号・11月号と袁了凡の『陰騭録』の紹介をしました。運命論者だった袁了凡が徳を積むことによって運命を変える運命開拓者になつたというお話です。

この『陰騭録』には袁了凡の実体験が書かれています。これは息子・天啓のために書いたものです。そこには「どんなに徳を積んで運命が好転しても、絶対に驕つてはいけない」ということがくどい程に書いてあります。「謙虚であれ。謙虚であれ」と繰り返し書いてあるのです。「謙虚でなければどんな大きな徳もすぐに消えてしまふ。だから徳を保つためにはとことん謙虚であれ」と



いうことなのです。

謙虚けんきよということ

日蓮にちれん聖人しょうにんも「謙虚けんきよであれ」とおっしゃっています。

『崇峻すしゅん天皇御書てんのうごしよ』というご遺文いぶんがあります。これは日蓮にちれん聖人しょうにんが四條金吾しじょうきんごという篤信とくしんの檀越だんごつに宛てられたお手紙てがみです。四條金吾しじょうきんごとは日蓮聖人にちれんしょうにんが龍ノ口たつぐちの頸くびの座ざで斬首ざんしゅの刑けいに処せられようとした時とき、自らも死装束しじょうぞくで追おい腹はらを切きろうとした人ひとです。

この人は非常ひじょうに信仰熱心しんこうねっしんだったのですが、直情的ちよくてきなところがありました。ある時とき、四條金吾しじょうきんごが仲間なかまの讒奏ざんそうによって蟄居閉門ちつきよへいもんさせられ、領地りょうちも取り上げられてしまいました。その時とき、日蓮聖人にちれんしょうにんより「今はとにかく堪忍かんにんをせよ」と言われ、教えられた通り堪忍かんにんをしていると、状況じょうきょうが変か



わったのです。

その頃、鎌倉一帯に疫病が流行り、主君も病気に罹ってしまいました。四条金吾は薬に詳しく「すぐに出仕するように」と言われ、処方した薬を持って主君のところに行き、その病気を治したのです。そして、疑いははれ、治療の功績も認められ、以前よりも好遇されることになったのです。四条金吾は大変喜びましたが、その時に日蓮聖人がお手紙を書かれたのです。

「謙虚であれ。今、そのようになったことは喜ばしいことだけれども、今まで以上に身形や行いを慎むように」
その中で周公旦という人物の故事を挙げられました。
「周公旦と申せし人は、沐する時は三度握り、食する時は三度吐き給いき」

これは「握髪吐哺」という有名な故事です。

周公旦は周王朝の成立、発展に大功のあった人物で、



あの孔子が一番尊敬したという人物です。

周王朝は文王、武王、成王と続きます。この三代の政治を輔佐したのが周公旦です。その周公旦は息子の伯禽が魯という国に封じられた時、訓示をします。これが「握髮吐哺」です。

「わしは周王朝の一族としてとても高い地位に就いておりながら、そのわしでさえ洗髮中に来客があると三度も中断し、洗いざらしの髪を握りながら引見した。また、食事中に来客があると三度も食べかけの物を吐き出して引見したこともある。それ程気を遣いながら、それでもなお優れた人材を取り逃がしはしないかと心配していたのだ。そなたも魯に赴いたならば、領主だからと言って決して驕ったまねをするではないぞ」と言う訓示をしたのです。この故事を以って、日蓮聖人は四條金吾に教えられたのです。「周公旦のような偉い人物でも謙虚であ



ったのだ、あなたもつとめて謙虚けんきよであるように」と。

易経えききやうにおける「謙虚けんきよ」

易経えききやうと聞くと、なんだ占うらないかぐと思おもう方かたがあるかもしれませんが、易経えききやうは東洋哲学とうようてつがくの最高峰さいこうほうとされています。思想家しそウカで歴代総理大臣れきだいてうりだいじんの指南役しなんやくと言いわれた安岡正篤氏やすおかまさひろしは「易えきを知ると本ほん当とうに人じん生せいがわわかる」と言いっておられます。

この易経えききやうの中なかに「地山謙ちざんけん」という卦けがあります。易えきの卦けは全部ぜんぶで六十四あります。その一つひとつに人じん生せいを六段階だんかいに分わけて占うらなう「六爻りくごう」というものがああります。「地山謙ちざんけん」以外いがいの六十三の卦けの六爻りくごうを見みると、必かならずどこかに注ちゆ意いすべべき戒いましめがああります。しかし、この「地山謙ちざんけん」に限かぎっては全まったく無ないのです。要ようするに、福ふくのみあるぐといいうことことです。つまり、謙虚けんきよでああれば人じん生せい、どの時代じだいにお



いても、少年時代も青年時代も中年も老年もどんな時も悪いことはないということです。

「地山」とは、高い山が下にある、いつも自分を低くしている、ということ。高い地位にあってもいつも謙虚でいるという意味です。謙虚はどんなときにも福を呼ぶです。

また『書経』という中国の古典の中には「満は損を招き、謙は益を受く。これすなわち天の道なり」と書いてあります。

偉大な人ほど謙虚なもの

袁了凡は「謙虚利中」の章で具体的に謙虚な人はこういう風にいんだ、ということ。当時の人の例を挙げて書いています。袁了凡の時代では、科挙という国家公



務員試験に受かることが人生の最大目標だったことは以前にお話ししました。

その科挙に挑んだ張畏巖という人の話があります。張畏巖は非常に学問のできた人でした。文章を作ることでも巧みでした。この人が、科挙の三年に一度の郷試を自信满满で受けました。ある寺に宿をとり、試験の発表を見に行きました。すると張畏巖の張の字もありませんでした。普通の人ですとガツカリして帰るところですが、張畏巖はガツカリするどころか「試験官の目は節穴か。いや、試験官の目は横についているのか」と怒って悪態をつきました。するとすぐそばに道教の行者がいて、クスクス笑うのです。笑われて余計に腹の立った張畏巖が「なんでお前は笑うんだ」と言うと、行者は「あなたのような人が良い文章を書いているはずがない」と言うのです。「見てもいないのに何故わかるんだ」といよいよ



怒ると、「良い文章というのは心が穏やかでなければ書けない。心が謙虚でなければ書けない。試験官を罵倒するような素晴らしい言葉を吐くあなたが、良い文章を書いたとはとても思えない」と言われました。張畏巖ははつと気づき「では、どういう心でいけばいいんだ。どのよいうな文章を書けばいいんだ」と問うと、「運命がもし、受かる運命ならば文章が上手でなくても受かる。運命がもし受かる運命でなければ、いくら文章が巧みでも受からない。大事なことは自分の運命の転換を図ることだ。運命が試験に受かるという運命に変えなければいけない。それには天に喜ばれる行いをしなければいけない。そうすれば天があなたを受かる運命に導くだろう。広く陰徳を積み、謙虚になりなさい。そうすれば自然に運命は変わるであろう」と言われました。張畏巖は「わかりました。しかし、私は本当に貧乏書生でお金も全くない。い



くら陰徳を積もう、善いことをしようと思っても、お金がないんです」と言う、行者は「善事、陰徳というのは心の持ちよう次第だ。どんな小さな行いも心の持ちようで徳になる。大きな功徳になるときもある。また謙虚に日々を過ごせばそれだけで徳になる。心してやることだ」と言い残して去っていききました。

それからは、謙虚に徳を積もうと一生懸命に張畏巖は日々を送りました。そして、三年が経とうとする時に、ある晩、夢を見ました。夢の中に大きなお堂が出てきました。お堂の中に張畏巖が入っていると、役人がそこにいて「ここにあるのが今度の試験の合格者の名簿だ」と言い、その名簿を見ると、ところどころ名前がないところがありました。これは何かと訊ねると「以前に徳を積んだが、最近罪障を重ねるようになって名前が削られたのだ」と役人は言いました。ずっと見ていくと数えて百



五番目にまた空欄があり、その役人が「ここにお前の名前が入る予定だ」と言うのです。また、「三年間よくやった。よく謙虚に徳を重ねてきた。試験までまだ少しある。努力を怠らぬように」と言いました。その後、張畏巖が試験を受けると、なんと名前が百五番目にあつたという話です。

袁了凡は言います。「誰も見ていないと人は言うけれど、違う。頭上三尺には天がいらっしやる。心して日々を暮らさないといけない」
偉大な人というのは謙虚なものです。傲慢で偉大な人というのは聞いたことがありません。

お釈迦さまの右腕だった舍利弗尊者は非常に謙虚な方だったそうです。こんな話があります。祇園精舎で舍利弗尊者が僧衣の着方を間違ったことがありました。すべ



てに作法さほうがあり、それを守まもらないといけなかったのです。
間違まちがえた着方きかたを得度とくどしたばかりの沙弥しゃみが「舍利弗しゃりほつさま、
僧衣そうえの着方きかたが違ちがっておられます」と言いったそうです。そ
れに対たいして、舍利弗しゃりほつ尊者そんじやは「ああ、氣きづかせてくれてあ
りがとう」とその場ばでその沙弥しゃみに向むかってひざまずいて
手を合あわせたそうです。それくらい謙虚けんきよな人ひとだったので
す。私わたしはこの話はなしを知しった時とき、感動かんとどうしました。到底とうてい真似まねの
できることではないですが、心こころの隅すみで覚おぼえておくと良よい
と思おもいます。

こんな話はなしもあります。アメリカのある小学しょうがっこう校こうで算数さんすうの
成績せいせきが良よくない女おんなの子こがいました。先生せんせいが「あなたの家いえ
の隣となりに算数さんすうのよくできるおじいちゃんがいるでしょう。
あのおじいちゃんに習ならっていらっしやいよ」と言いうので、
その女おんなの子こは言いわれた通とおりにおじいちゃんのところに行い



き「算数を教えて」と言うと「いいよ」と教えてくれました。女の子はよくわかったので「また来ていい？」と言うとおじいちゃんは「毎日おいで。おじいちゃんは暇だから」と言い、女の子は毎日通いました。するとどんな算数の成績が良くなり、先生がびっくりして「どうしたの？」と聞きました。女の子は「先生に言われたよ、うにあのおじいちゃんのところに行きました」と言うと、先生は「本当に行っちゃったの。大変だ」とすぐに女の子のお母さんに連絡して、おじいちゃんのところ二人で謝りに行きました。するとそのおじいちゃんは「いやいや、私はとても楽しかったよ。それに私の方が勉強になりましたよ」と言いました。このおじいちゃんこそは、あの相対性理論のアインシュタインだったのです。

この話で思い出したのですが、近所に住む信者さんの



息子さんが、小学校一年生の一学期に家庭の事情で学校に通えなかったのです。小学校一年生の一学期を丸々休むと、後々いろいろなことが遅れて大変です。日達上人が心配されて「ああ、夏休みの後に突然行ったのでは勉強が遅れて、学校がつまらなくなるといけないから、私が教えてあげよう」と言われ、その子を夏休み中、ほとんど毎日朝9時ぐらいから2時間程、家庭教師になって教えられたのです。その子は無事に二学期から学校に行くことができました。その子は私の同級生なのですが、「学校に行けたのは鈴木君のお父さんのお陰だ」とよく言っていました。



特集

法音寺瀬戸布教所

三徳布教の新本堂落慶

山首上人さまご挨拶

一言ご挨拶を申し上げます。

まずもって、瀬戸布教所の皆さまにおかれましては、三徳開教壱百年の記念すべき年に新本堂の落成慶讃を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。また、本日御参集賜りました、有縁の皆さま、御多忙の中を本当にありがとうございます。衷心より御礼申し上げます。

さて、この輝くばかりの新本堂であります。まさに靈山浄土が今、瀬戸の地に湧現したように感じるのは私だけではないと思います。諸天善神・三先師・日達上人、そして日晴上人もさぞお喜びのこと



と拝察いたします。

日晴上人第二十三回忌の御報恩として、発刊されました思い出集『ありがたい』の中に上人の折々の教化が載っています。その初めにこうあります。

病気になっても「ありがたいね」

怪我をしても「ありがたいね」

事故にあっても「ありがたいね」

歩いていても「ありがたいね」

なにがあっても

どんなときでも

「ありがたい」

私はこれこそが真の法音寺信仰であると思います。この真の法音寺信仰が瀬戸の皆さまには深く根づいています。

この度の落慶にあたり、記念碑に「陶冶」と揮毫させていただきました。 「陶冶」とは、人格を練り



上げることです。新本堂の落慶を機縁として瀬戸の皆さまがますます信仰を深められ、人格陶冶にご精進されることを切に願っております。

結びに、新本堂建設にご尽力くださいました関係各位に甚深の感謝を申し上げつつ、ご挨拶とさせていただきます。皆さま本日は誠にありがとうございました。

平成三十年十月二十八日



顕修院日達上人の御祥月命日法要が執り行われます。
法音寺本山では12月17日(月)、午後1時30分より
講日に併せて法要が厳修されます。
日達上人からご教化いただいた
お言葉を思い起こしましょう。
皆さまのご参詣をお待ちしております。

◆今月の山首上人さまご親修日程

西春支院	12月1日(土)	岐阜支院	12月4日(火)
大阪支院	12月9日(日)	明川支院	12月22日(土)
亀岡布教所	12月23日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	2日・8日・22日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・23日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	9日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・22日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・9日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	1日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	☎(0595)21-0127

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	2日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	9日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	8日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	2日・9日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	8日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	2日・7日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・16日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	8日・16日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	1日・16日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	9日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	2日・15日・16日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	9日・15日・23日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	9日・23日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	8日・19日・25日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	10日・23日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)

Houon Diary 2019

修養手帳 2019

- Seeds of Happiness -

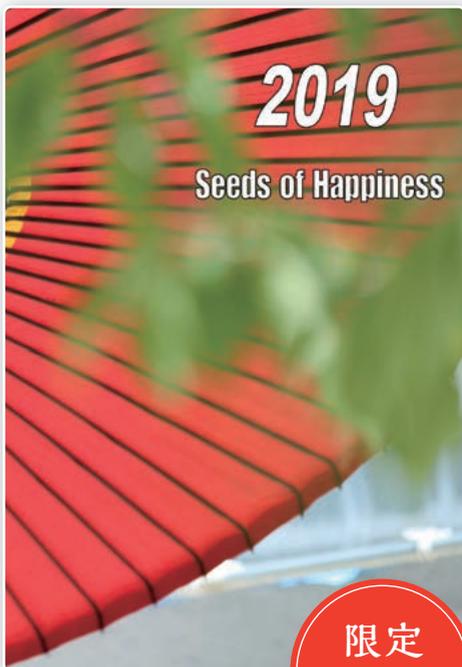
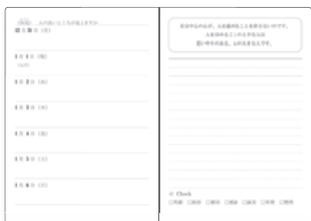
《 幸せの種まき 》



今年の表紙は
山首上人さまの大傘



ウィークリーには
幸せになるための
お言葉を掲載



限定
700部

価格 1,000円(税込)

日々の感謝とお誓いによって
あなたも まわりの人も
幸せになる手帳です。

※お問い合わせ・ご注文は最寄りの支院・布教所まで

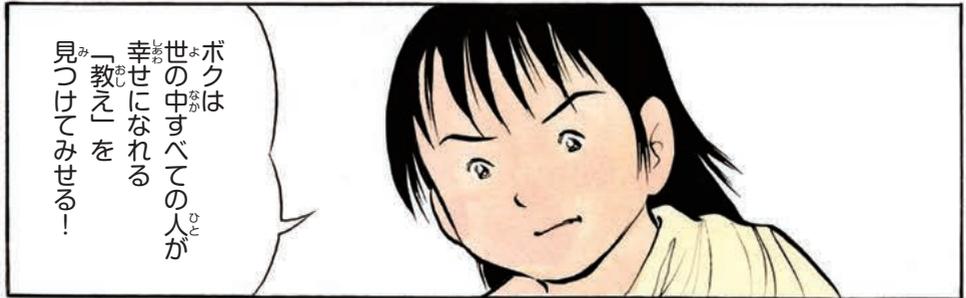
雪山童子

このお話は、仏さまが過去世で修行されていた時のお話です。まだ仏さまの教えがない時代に、「雪山童子」は命を捨ててまで「尊い教え」を求めようとしました。





昔々
ヒマラヤの山の中で
雪山童子という
若者が修行に
励んでおりました



ボクは
世の中すべての人が
幸せになれる
「教え」を
見つけてみせる！



雪山童子は熱心に
修行してるな…
しかしいつまで
もつかかな？



た たしか今
何か
すばらしい言葉が
聞こえてきた
ような…



諸行無常



よし
本気がどうか
一試してみよう





ワシに
なにか用か?!



いま
今しがたボクは
すばらしい教えを
聞きました
あの声の主は
あなたですか?

ああ
だったら
なんだ?



しよまうむじょう
諸行無常
せいめつぽう
是生滅法
この世の一切は
生じて消えていく
はかないものである
このあとの教えを
教えてください!

ダメだダメだ
ワシは腹ペコなんだ
もう教えられん

それではボクが食べ物を
見つけてきますから
どうか教えてください





ワシが食へたいのは
生まれた人間の肉だ

そつだ！おまえを
食へさせてくれたら
教えてもらいます

…

正しい教えを得られるなら
世の中の人みんなが
幸せになれる…

わかりました
教えていただけるのなら
どうぞ食べてください



じゃ
早速
教えてください

ほ 本
当に
いいんだな



諸行無常
是生滅法
の続きは

消滅滅已
寂滅為楽
だ…



諸行無常
是生滅法
この世の一切は生じて消えていく
はかないものではあるが

なんて尊い
教えなんだ

消滅滅已
寂滅為楽

この生じたり消えたりするものを
超えた 正しい教えを得るならば
本当の幸せになることができる





あ
あなたは鬼おにでは
なかつたのですか



尊ととい教おしえを得るために
自みづからの命いのちをも惜おぼしまない
あなたはなんて立派りっぱな
人ひとでしょう



あなたの修行しゆぎやうが
本物ほんぶつかどうかを
試ためしたりして
申し訳わけない…
どうかお許ゆるしてください

ひとりでも多おほくの人に
この尊ととい教おしえを
伝つたえねば…



今の時代、仏さまの教えがあります
学ぶことも行うこともできませんが
雪山童子の時代は法がなく
十六文字の教えを得るのにさえ
一命を捨てようとした程
仏さまの教えは尊いものなのです

雪山童子のように

一人でも多くの人に仏さまの教えを知らせ
明るい心、明るい家庭を作り、世の中を明るくし
仏さまのご恩の万分の一にも報いるよう
心掛けなければなりません



おわり

雪山童子に学ぶ

雪山童子のお話は涅槃経に登場します。

日蓮聖人はご遺文『松野殿御返事』の中で次のように述べておられます。

「…このことは涅槃経に書いてあります。雪山童子は、半分の偈のために命を捨てて求めようとされたのです。この法華経の一品一卷を聴聞する恩と徳は大きなもので、いかなる物をもってこの御恩に報いることができます。法華経に示されていることを実践し、ほかの人々に伝え、その御恩に報いなければなりません。

もつとも後世の善処と、自らの生涯を活かしていこうとする人はみな、雪山童子のような心掛けで法を求めたいものです。自分は貧しくて施すべき宝はなくても、自分の身をもって尽くそうとすれば、必ず尽くすことができるのです。仏法を得る機会があったならば、身命を捨てて仏法を得ようとした雪山童子の心で、正しい教えを求めなければなりません。



雪山童子の画（身延山信行道場、講堂壁画）

自分の体はどんなに大事にしても、いつかは山野の土となってしまうことをよく考えなければなりません。どんなに体を惜しんでも、何の生き甲斐もありません。長生きをしても、百年以上も生きることができないのです。その儂さは、ただ一睡の夢と同じです。自分の体は一度死んでしまえば、ふたたび得難いものです。この大切な体、貴い体を得て、仏法のある時代に生まれながら、在家の者でも、出家した者でも、仏の教えを学びながら、法を信じず、悪道に堕ちる謗法の者に反省を促すような努力もせず、いたずらに遊戯、雑談のみの一生として明かし暮らすならば、法師という名はあっても、法師の皮を着た畜生のようなものです」

(松野殿御返事)

この雪山童子のお話で私達が学ぶべきことは、人の一生は儂く、その一生を不幸なものとしてはならない」ということです。必ず仏法を学び、人生を意義あるものになりたい」と考え、仏法を学ぶ心を起こさなければなりません。

雪山童子は、自分の悟りはもちろんですが、未来に生まれてくる人々が道を誤らないようにするため、悟りを求められたのです。私達も子や孫や、後の世に生まれてくる人達のために、わかりやすく、人生の意義を悟らせるようにしなければなりません。

雪山童子の時代は法がなく、半分の偈文を求めるのにさえ、一命を捨てようとしなければならなかった程、仏さまの教えは尊いものだということを私達は理解しなければなりません。ありがたい世の中に生まれても、仏さまの教えを学ぶことなく暮らすのはまったく

もつたいないことば。

知り得た教えは、自分一人で聞いてはもつたいないことです。一人でも多くの人に早く知らせて一日も早く明るいき、明るい家庭を作り、世の中を明るくして、仏さまのご恩の万分の一にも報いたい」と心掛けたいものです。

【涅槃経といろは歌】

いろは歌は『涅槃経』の中の「諸行無常、是生滅法、生滅滅已、寂滅為樂」（諸行は無常であつてこれは生滅の法である。この生と滅とを超えたところに、真の大樂がある）の意識という説があります。

いろはにほへと ちりぬるを わかよたれそ つねならむ
（色はにほへど 散りぬるを 我が世たれぞ 常ならむ）
うゑのおくやま けふこえて あさきゆめみし ゑひもせす
（有為の奥山 今日越えて 浅き夢見じ 酔ひもせず）

【現代語訳】

匂いたつような美しい花も散つてしまつ。この世で誰が不変でいられよう。
いま、そんな現世を超越し、はかない夢をみたり、酔いにふけつたりはすまい。

衣・座・室

法華経を広める上で大切なこととして説かれた教え『弘教の三軌』があります。

「末法においてすべての人々のために、この法華経を説こうとするならば、如来の部屋で、如来の衣を着、如来の座布団に座る心で法華経を説きなさい。部屋とは大慈悲心。衣は柔和忍辱の心。座布団は一切法空。始終それを自分の心とし、怠ることなく、多くの人々のために広



くこの法華経を説くように」（妙法蓮華経法師品第十）

「如来の室」とは大慈悲です。

「大慈悲」は、相手が誰であろうと、相手の立場に立って接していくということ。親孝行にたとえれば「自分が親だったらどうしてほしいか」という心になることです。そもそも「慈悲」とは、^レ人に樂を与え、苦しみを取り除いてあげること^クです。自分が味わった善いことも悪いことも、自分一人のものにせず、そのことを活かして人を導くことが、本当の「慈悲」につながります。

「如来の衣」は堪忍です。これは、表生地が「柔和」で、裏生地が「忍辱」です。

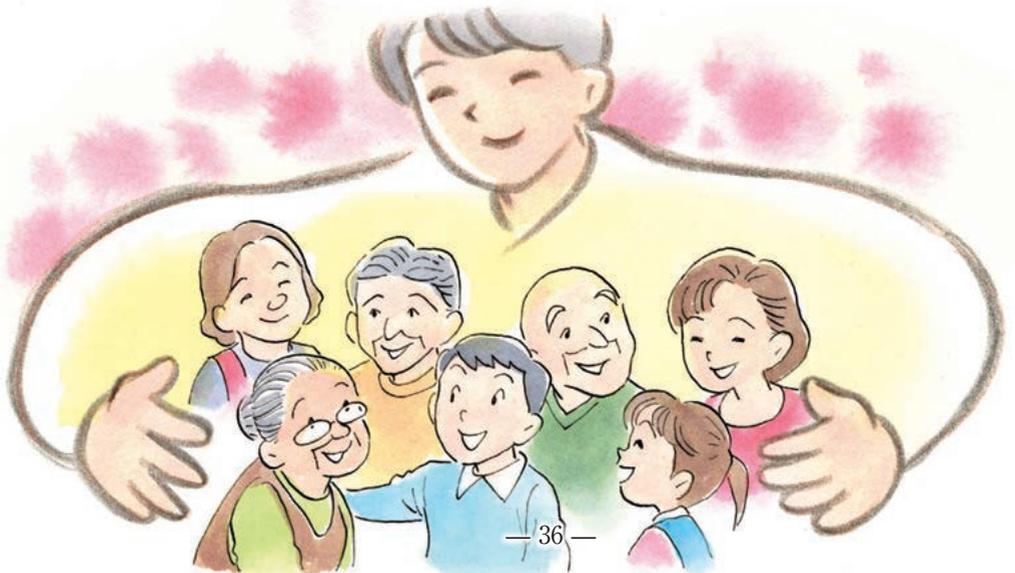
人に命令すれば、それがどんなに良いことでも、相手



は素直に聞けないことがあります。無理に言うことを聞かせても、その時だけ。人を動かそうとするなら、柔和な心がないといけません。柔和な心で人に接していくと、自然に相手の心を開かせていくことができます。法華經を聞き、真に実行している人は自然と「柔和」になるものです。

また、人に何か言われたことを我慢するのは「忍辱」ですが、人にほめられた時、有頂天にならないことも「忍辱」です。表面的にはすべての人を包み込んでしまうような優しい心、そして内には、何もものにも惑わされない強い心がある。それが「如来の衣を着る」ことです。

「如来の座」は、仏さまの座っている座布団。「一切法空」とは、一切の現象はすべて空である、ということ。



「空」の反対は「有」。その形に捉われる」ということ
とです。人は形に捉われるもの。しかし地位や名誉や表
面的な美しさは一時的なものであり、永久に続くもので
はありません。それらはすべて、何かと比べた結果であ
り、相対的なもので、決して絶対的なものではありません。
しかし仏さまの命だけは絶対不変です。そして本来
人は誰も、仏さまと同じ絶対の命をもっています。自分
の内にある「仏性」を見失わず、移ろいゆくものに心を
捉われないことが「空」の心であり、「如来の座に座る」
ということです。

生きていく上での本当の目標をはっきりと見極め、そ
れに向かって精進を続けていきましよう。

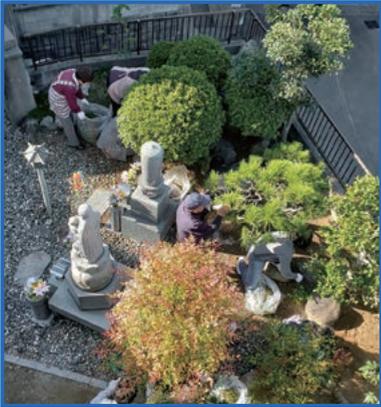


平成30年10月21日(日)

『全山一斉清掃奉仕の日』

全国の各支院や布教所で、
近隣の落葉集めや清掃を行いました。





ふたりでお掃除したよ!

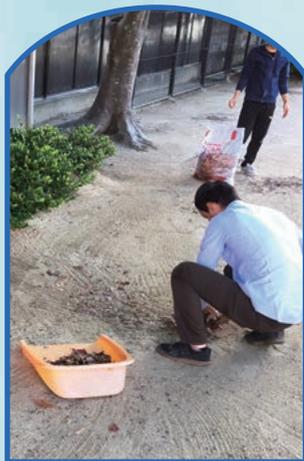




お世話になっている地域へ感謝を込めて...



毎日を気持ちよく暮らす為に
私たちの住む町をキレイに！



※お送りいただいた写真を掲載させていただきました。
それぞれの支院・布教所名は省かせていただきましたがご了承ください。

のりのね体験

いま・昔

人のふり見て我がふり直せ

小林 武夫（昭和14年）

どうしたものが、夜の十時頃まで仕事を続けていましたが、肩が凝ってなりません。気分転換のために仕事をやめて立ち上がり、ラジオ体操をやってみました。すると不思議にも目がグラグラと回り、心臓の鼓動が早くなり、今にも倒れそうになってしまいました。咄嗟に、もう駄目かもしれない、と思いました。今夜このまま死んだら、自分が今やっている仕事は目茶目茶になっても言いつけて整理をいただいたお客さまにどれ程迷惑をおかけするかしれない。明日になれば妻にでも言いつけて整理することができると。今夜一晩でいい。私の命は諸天善神にお任せします。どうかお守りくださいと願いつつ寝ました。すると明け方こんな夢を見ました。

「あなたは絶えず、あれが悪い。これがいけない、などと、腹の中はいつも愚痴不足で、少しも感謝ということがありませんが、よく考えてみてください。あなたの家の裏には花畑があり、それに垣根がしてあるでしょう。垣がしてあるために、多くの人はそこを通ることができず、わざわざ大廻りしなければなりません。その人達は、この花畑さえなければ、不便な思いをしなくてもよいのに」と、どれ程嫌な思いをしていることでしょうか。あなたは、俺は修養をしているから人に迷惑をかけるよう

なことはしていないなどお思いでしょう。それが大きな間違いです。昔から『人のふり見て我がふり直せ』という諺がありますが、あなたもよく反省してください。自分は良いと思っていながら、知らないうちに、人を腹立たせることや、怒らせることをしています。人を悪いと思う前に己が心を省み、人に言う前にまず己の心を直しなさい」

その途端に目が覚めました。考えてみますと、夢で誰かが言われた言葉通り、私はいつも妻のやることが腹立たしく思えてなりませんでした。私はこの夢のお言葉を思うと恥ずかしくなりません。私は妻にこのことを話して詫びました。すると妻が「いいえ、私が悪かったです」と詫びるではありませんか。私が腹立たしく思って妻を叱るなら、妻はこんな素直な態度に出なかったに違いありません。私はここでも堪忍の偉大さを知り、三徳の修養の必要性を痛感しました。こう私が悟りますと、昨夜あれ程肩が凝り、目がグラグラしたものが何ともなくなり、気分も大いに爽やかになり、またいつものように元気に仕事に就くことができました。

身近な人の教化

大阪支院 澤田公代（平成30年）

今、主人がともに修養してくれることは私の最大の喜びです。主人は法のない人でしたので結婚する時、いつか必ずこの御法を行ってもらえるよう精進していこうとお誓いしました。

私が法音寺大阪支院にお参りし、三徳の教えを信仰していることは話していました。これに対して

主人は「お寺へお参りすることは自由だから反対はしないけど、自分は無神論者やから僕には勧めんといてや」という返事でした。私はお寺へ行くことを反対されなくて、それだけで良かったと喜びました。そして次々と3人の胎教児をいただきました。約束通り主人に「お寺へ行こう」とは一言も言わず、月2回のお寺の講日には3人の子を連れて欠かさずお参りしました。

雨が降っても、台風が来るといような時でも、講日は休まずお参りする私の姿に主人はあきれていました。「何でそんなにまでしてお寺に行くのか。一体お寺には何があるんだろうと思った」と言っていました。それから『法音』を主人の近くに置いたり、たまに車でお寺へ送ってもらいながら少しでも近くでお寺を見てもらうようにしました。

ある夏の暑い日、私は講日の前日奉仕でお寺の前の道路掃除をさせていただいていました。当時はまだ雑草が生えていて、そこに犬の糞があったり、空き缶やごみが捨てられていて、とても汚れていました。お参りする方が少しでも気持ち良く参詣していただけるようにと、一番下の子とご奉仕させていたっていました。

炎天下の中で掃除をしていると、その子が水にひたした冷たいタオルを「お母さんこれっ」と持ってきてくれました。そのタオルの気持ちの良かったこと。

あつ、これは変化の人だなと喜びました。そしてぱっと心に浮かんだのは、同じ炎天下の中で毎日仕事をしている主人の姿でした。主人の仕事の大変さを知らなかった。申し訳ない。自分だけがさも実行しているように思っていた。本当に偉いのは、愚痴も言わず働いてくれる主人なんだ。今日

からは子どもが冷たいタオルを渡してくれたように、私も冷えたビールとおいしい食事を心を込めて用意して、主人を喜ばそう」と思いました。主人を喜ばすよう私が変わらなければ、自分の思いを押しつけるだけでは何も変わらない」と気づきました。私が変わると少しずつ主人の態度も変わってきて、お寺に誘うとお参りしてくれるようになりました。今では率先して三徳の実行に励み、お寺の行事にも喜んで参加してくれています。

澤田家の改宗もすることができました。また、去年104歳で亡くなった義母の葬儀も法音寺で行っていたことができ、本当にありがたいことと喜ばせていただきました。

頭修院日達上人さまの『大白牛車(一)』「身近な人の教化」に

「主人に話を聞かせたいのですが、どうしたらいいでしょう」と言う人がよくあります。身近な人を教化するには、言葉で「こうしなさい」という方法もありますが、それで信仰してみようという人は、余程因縁の深い人です。しかし、そのような人は少ないものです。ですから、行いによって感化するしかありません。怒りっぽい人が全然怒らなくなり、温和な人になれば効果はてきめんです。またそうならなければ本当ではありませんし、周りの人を教化することはできないのであります」と示してくださいっています。これからも、これを指針として精進してまいります。



第36回 御法推進全国大会

平成30年11月3日

11月3日、第36回御法推進全国大会が法音寺において開催されました。本年は、役員等の改選の年であり、法座開設50年以上の施主の皆さんに感謝状、御報恩納経「宝塔偈」1千巻を書写された方に表彰状が贈られる大会となりました。

参加者は285名、全国の支院・布教所で日夜御法のためにご尽力いただいている方々です。三先師・日達上人御報恩の法要に続いて、物故功労者の追善法要が行われ、ご回向の中で山首上人さまによって、俗名と法名が読み上げられると、参加者の心に「あの方も亡くなられたのだ」という思いと、「ありがとうございました」という感謝の念が浮かびました。

法要後、内局委員・教務委員長・広報委員長・青少年育成委員長に委嘱状が交付され、続いて法座施主の方に感謝状、納経を書写された方に表彰状が贈



功労者表彰

られました。

山首上人さまはご挨拶で、始祖安立大法尼の「全世界を平和に、日本を世界の鏡となる国にしたい」という壮大なお考えの実現に向けて精進願いたい、私達に決意を求められました。

山首上人さまご挨拶

本年は三徳開教百十年という記念すべき年であります。始祖・安立大法尼は慶応4年（明治元年）7月28日、岐阜県羽島郡笠松町の名主・杉山定七氏の次女としてお生まれになりました。幼少時より三宝に仕える志篤く、19歳にして天眼通を得られました。後、過酷なる断食・水行を重ねられ、ついに仏道の奥義を極められ、二祖・宗玄大徳と協力し、明治42年1月、名古屋市東区清水町に仏教感化救済会を設立されました。この時から数えて本年は、百十年となるのであります。

安立大法尼は、法華経・三徳の宣布並びに救済事

業に東奔西走され、昭和7年6月28日に化を他界に遷されました。ご遺骨には直径60cmの大きな青蓮華が浮かび上がり、凡人ならざることが証されたのであります。また、世の人々はその事績をもって、末法の四導師の一人、安立行菩薩の再誕であると讃えたのであります。

安立大法尼は、特に文書布教に重きを置かれました。初期の頃より「出世の栞」という布教誌を発行され、編集長を御開山上人が務められました。これは毎月発行されましたが、最初に出されましたのは『世界の鏡』で、内容は日蓮聖人の一代記と法華三部経の解説です。読んでみますと非常にむずかしいものですが、当時の信徒の方々は、これをお金を出して何十冊、何百冊と求められ、街頭で施本されました。このむずかしい本をもらわれた方が読まれたのだろうかと思うこともありますけれども、当時の方々はこの本を理解するというよりも、受け取った方が、受け取ったという縁と、施本の功德によつて仏教感化救済会に縁ができると考えられたわけ

です。

『世界の鏡』という本の題名であります。『世界の鏡』という意味かご存じでしょうか。「出世の意義」というご法話の中に、「法華経を学び、実行して、幸福を得る。出世をして世間の人々にその範を示し、絶大なる妙法の威力を、国内はおろか海外にまで宣伝流布せしめんとするのが、仏教感化救済会の目的であります」と述べられています。要するに我々が三徳を実行して、世の人々の範となつて、また日本国を世界の範たる国にしたいというお考えであります。

小さな借家で、開教されたわけですが、その時から氣宇壮大な考えをお持ちでした。そのために安立大法尼は、「積小為大。小を積んで大と為す。日常の小さな積み重ねによつて、大業は成就される」と言われた二宮尊徳と同じく、日常の細々としたことに即した教化・指導をされました。宗教社会学の權威である東洋大学・西山茂名誉教授が、「法音寺の教えには、生活法がある。生活に密着した教えがある」とおほめくださっている所以であります。

安立大法尼は、毎日の生活の中で、あたりまえのこと、誰もが知っていること、たとえば「働くことは美徳である」「働くことは楽しみだ」「仕事を趣味とせよ」とおっしゃっています。誰でも知っていると思えることですが、実際に行っている人は少ないと思います。また、「だんだん世の中が複雑になると、怠け者が増えます。働くことを美徳にしましょう。健康を害しないように、暴飲暴食を慎み、飲酒に当たりては節酒しましょう。早寝、早起きをしましょう。明快なる頭脳は、早起きによつて期待されます。祖先の恩を忘れぬようにしましょう。恩を感じて生きましょう。我々は祖先の分身です。感謝し、祖先の恩に報いるという気持ちで働きましょう。そして三徳を実行しましょう。これが一番の孝養になります」とお示しになっています。

一番大事な教えは、日常のこと、三徳を実行すること。それによつて、諸天善神の守護を受けるといふことです。諸天善神の守護を受けると、「電車で事故に遭つても、死なないどころか、怪我もしない。

運・不運を超える。悪運も幸運と転じる」こととなります。守護を受けていない人は、幸運に見えることが、実は悪運であることにすら気づきません。また、「一番の徳になることは何か。これは、自らが三徳を實行して世の範となり、一人でも多くの人に三徳を伝え、実行者を増やすことである。自分の精神修養をすることともに、他人にこれを教えて善道に入らしむることは、実に大いなる功德であります。世界中の民衆にいかほど財宝を与うるといえども、法を与えざれば、この民衆は現世安穩後生善処と終わることはできません。むしろ怠惰な者となるでし

■ 事業報告

教務委員会 島田行学委員長

◇浄心道場の開催 信教師の育成

◇信教師セミナーの開催

信教師の研修（信教師会と共催）

よう。もし一人の立派な人物を作れば、この人が次から次へと立派な人を作って、遂には全世界を平和に、すなわち娑婆即寂光の浄土、娑婆即無上道とすることができるのであります」とお教えになつておられます。

一人の力が大きいことを知り、たった一人の力でもその意志によつて大きい力となることを信じて、一日一日を大切に功德を重ねれば、必ず安立大法尼のおっしゃる、日本が世界の鏡となる日がまいります。ぜひこの百十年を機に、ご精進をお願いします。

◇御法推進全国大会の開催

◇私の誓願・わたしのおちかひの推進

◇御報恩納経（10月17日現在）

申込数 86万3040巻

欲令衆 66万6590巻

宝塔偈 19万6450巻

納経数 77万6272巻

納経堂収蔵数 75万5430巻

広報委員会 三宅善祐委員長

- ◇月刊『法音』の発行
- ◇まんが『ひまわり』単行本発刊
- ◇フェイスブック
- ◇メールマガジン
- ◇ポスター製作
- ◇御開山会 法要のしおり
- ◇御開山会 参詣マップ
- ◇『聖教』発刊
- ◇行事紹介動画の作成

青少年育成委員会 島田知教委員長

- 活動目標…子ども会・青年会活動の活性化のため、支院と連携し、人材の育成を積極的に支援する。
- ◇育成合同会議

◇青少年育成道場

◇御開山会奉仕

◇育成キャンプ

◇育成合同研修会

◇全山一斉清掃奉仕の日

◇近隣支院交流

◇広報活動（ホームページ・フェイスブック・PR
動画）

◇青年層による「法音寺三徳」布教活動の展開

災害支援部会

◇定例活動（5回）福島県南相馬市（樹木の伐採・
除草等）

◇臨時活動（8回）台風・地震・大雪・豪雨で被災
された地域（泥出し、炊き出し、支援物資の配布
等）

平均10名参加。延べ人数136名、男性112名
・女性24名。

日本福祉大学 丸山悟理事長

- ◇ キャンパス見学について（大阪・東京の2支院）
- ◇ 理事長の支院訪問について（上野・四日市・岐阜
・関・岡山・福岡）
- ◇ 大阪支院の記念法要に参詣
- ◇ 付属高校60周年関連の報告
- ◇ 大学「リカレント教育」を開始
- ◇ 留学生受け入れと日本語教育センター開設

昭徳会 杉本行正事務局長

昭徳会運営状況報告

- ◇ 児童部門（8施設・15事業・利用者531名）
- ◇ 障がい者部門（4施設・20事業・利用者330名）
- ◇ 高齢者部門（6施設・17事業・利用者558名）
- ◇ 職員数 正職員450名、臨時職員320名
- ◇ 新規事業について
- ・ 地域小規模児童養護施設「はぐみ」

- ・ 自立援助ホーム「かりん」
- ・ 放課後等デイサービス「たいざん」
- ◇ 支院の研修会に講師を派遣

山首上人さまがご挨拶で述べられた「一人の力が大きいことを知り、たった一人の力でもその意志によって大きい力となることを信じて、一日一日を大切に功徳を重ねる」日々の精進を誓って、大会を終りました。

（通信員 大庭圓昭）

福祉に 生きる



社会福祉法人 昭徳会

児童養護
施設

名古屋若松寮の実践

『日本の福祉を築いたお坊さん』に学ぶ。

鈴木修学先生が築き上げた福祉の

新たな未来を切り開くために…

日々笑顔で子ども達に接します

名古屋若松寮 栄養士 徳田 ゆみ子

現代のような社会福祉がなかった時代に、修学先生は内面から湧き上がる温かさで福祉の心成形にしていきました。

修学先生が実践されたことが本の中にたくさん書かれてあり、とても実行力のある方だと感じました。そして、どんな時でも先頭に立ち、自ら率先して働く姿が印象的で、そこから仕事に向き合う姿勢を学ぶことができました。

修学先生は、ハンセン病療養所や子ども施設の

障がいのある方々の施設などを開設し、戦争で親を失くした子ども達の親代わりにもなり、真心をもって福祉の姿勢でさまざまな場でさまざまな人々と向き合っていたらっしやいました。また困ったことが起こった時は、柔軟な発想力と前向きな明るさで乗り越えて来られたことを知り、いつも前向きな気持ちで積極的に行動することの大切さを改めて感じました。

本の中で、「慈悲・至誠・堪忍」の三徳について書かれているところがありました。

人々の憂い、悲しみを自分のこととして受け止め、自らの喜びを他人に分けて与える優しい心。間違った行いや悪い心を退け、世のため人のために自らを役立て、優しさを持ち続ける心。腹を立てず、恨みや怒りを捨て去り、理不尽な出来事からも逃げ出さず、他人を許す広い心。このことは、

愛そのものだと感じました。

人が大好きな修学先生が人々の中で生き生きと活躍される姿が本の中にあふれていて、読者は誰もが心を動かされたと思います。実際に修学先生と時を同じくされた方々はその愛にふれ、豊かな心を受け取ることができたのでしょうか。その精神を見習って、私も日々笑顔で子ども達に接していきたいと思いました。

私の仕事は子ども達に毎日の食事を提供することですが、食事を通して子ども達とかかわり、心身の成長を見守ることができません。修学先生の教えを日々の業務に当てはめて考えてみると、改善していかなければいけないことや、なかなか進まないことも解決していけそうです。

今の日本では、食べるものが簡単に手に入らなかった時代とは異なり、いつでも食べるものを手

にすることができません。それでも、偏った食事を摂ったり、不規則な食生活であったりと、問題はあります。その時、その場所でも求められていることを見失わず、子ども達の成長に役立てていくことが大切だと思いました。

その人の今の状態を少しでも良くしたいという思いを大切に

名古屋若松寮 児童指導員 西脇 奈津子

鈴木修学先生の物語を読んで、こんなにもすごい人だったということを知りました。就職活動中に昭徳会についてほぼ知識がなく、説明会で日本福祉大学と提携していることや歴史が長いということを知りました。そのためどうして日本福祉大学と関わりが深いのか、どういった歴史があったのかは全く知りませんでした。第一回初任者研修での講義とこの本を読んでやっと理解でき

ました。本を読んで一番に思ったことは、もしたらそんなに他人に一生懸命になれるのだろうかということでした。修学先生は若い頃から社会的に弱い立場の人々を助けるために日々いろいろと行動していたことを知り、自分はなんだろうと思いました。私自身、何不自由なく22年間生きてきて、誰かのために行動したことはありませんでした。電車でお年寄りに席を譲るなどのことはありますが、修学先生のように一人のために功德を積むだけでなく、さらに多くの人に対しても一緒に功德を積むことは今まで行ったことはありません。自分勝手なことばかりで、一度やれば次はやらなくてもよい、という考えから、なかなか行動することができていないと思いました。

またハンセン病の患者さん達のため、ご夫婦で治療や身の回りのお世話をしたという話にも驚き

ました。当時、ハンセン病は不治の病とされ、明確な情報もないまま間違った知識が広まったため、患者さん達がひどい扱いをされていたことは知っていました。私の地元もハンセン病患者の方がいらした地域があり、やはりひどい扱いをされた経緯から、人権問題に力を入れるようになりました。当時の修学先生のようにハンセン病患者さん達をお世話した医師がおり、その人の行動を称賛する記事がありました。小学生の頃に地元の偉人としてこの人を知り、またハンセン病についても知りました。差別がある中で、一人で患者さんを看病することはとても過酷なことだったと思います。それでも弱い立場の人達を支えるのは、その人の今の状態を少しでも良くしたい、という思いがあるからだと感じました。

私は児童指導員として、子ども達と接していま

す。日々の生活の中で、少しでも子ども達が家庭を感じるように、修学先生のような考えや初心を忘れないようにしていきたいと思っています。

子どもはほめて育てるを実感しました

名古屋若松寮 保育士 樋上 沙誉

『日本の福祉を築いたお坊さん』を読み、人を思いやる気持ちの大切さを改めて学びました。

修学先生は若くして成功を手にしたにもかかわらず、自分は何のために生まれて来たのだろうかと考えておられました。自分だったら今の暮らしに満足してしまうだろうと思います、修学先生の人生の考え方について感心しました。杉山辰子先生との会話も印象的でした。「功德を積むとはどういうことなのでしょう？」という修学先生の問いかけに対し、杉山先生は「困っている人を助け、法

華経を信仰する善人をつくることです。自分のできることで、立場を通し、仕事を通じて、人の喜ぶことをして導くのです」と答えておられました。自分自身も小さい頃から「困っている人がいたら助けましょう」と言われて育ってきたことを思い出しました。自分の仕事を通して児童養護施設で子ども達を笑顔にしてあげられるよう、努力していきたいと思いました。

生の松原・ハンセン病療養所は、想像以上にひどい状態だったようですが、それにもかかわらず、「法華経には、正しい教えの道を歩もうとする者は必ず試練に遭うことが記されている。この試練から逃げることはできない」と、夫婦で前向きに考え、困難にくじけず向き合ったとのこと。その姿に感動しました。私は社会人一年目でわからないことも多くあり、これから先、乗り越えなければ

ばならない壁がたくさんあると思います。そのような時には修学先生の考え方を思い出し、正しく前向きに困難に向き合っていきたいと思いました。

また、藤森の育児院の職員が修学先生のところへ「私達の手には負えません」と正男くんを連れて行ったときのこと。修学先生は職員を集め、「どんな子でも、ほめてやると必ず良い子になります。皆さん『あの子はダメだ。今日もああいう悪さをした』ということは明日考えるようにして、今日は良かったことだけを探してほめてあげてください。それが一番良い指導法なのです」と話されています。これから児童養護施設で働く者として、修学先生の言葉を日々忘れぬよう胸に刻み、子ども達と関わっていきたいと思いました。

現在、先輩職員と一緒に年長の男の子を担当させてもらっています。わからないことも多く、不

安もありますが、たくさん愛情を注ぎ、たくさんほめ、すすく育ってほしいと思つていきます。先日、ある子が外遊びから帰ってきて、手洗いをしている時、指一本一本丁寧に一生懸命に洗っていたため、「○○くん、すごく上手に洗えているね。すばらしいよ」とほめました。すると、さらにほめてもらおうと、トイレの電気を消したり、開けっ放しだった扉を閉めてくれたりと、努力する子の姿が見られました。まさにこのことだと実感し、日々の中で子ども達の良いところをたくさん見つけ、ほめて育てていきたいと思ひました。

『日本の福祉を築いたお坊さん』 日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語

星野貞一郎著・中央法規出版・新書版・168頁・800円(税別) 本書の著者印税のすべては「あしなが育英会」に寄付されています。

- 児童養護施設 名古屋若松寮
- 愛知県名古屋市長区山香町321
- 入所定員32名
- 職員 正職員28名、パート職員4名
- 栄養士 Ⅱ 献立表の作成や食事の評価など給食管理、入所児の栄養管理や栄養指導、衛生管理を担当。
- 児童指導員(児童福祉分野) Ⅱ 児童福祉施設において、児童の生活指導を行う。次の任用資格が必要。① 地方厚生局長の指定する児童福祉施設の職員を養成する学校その他の養成施設を卒業した者。② 大学の学部で、心理学、教育学又は社会学を修め、学士と称することを得る者。③ 小学校、中学校、高等学校の教諭の資格を有する者。
- ④ 高等学校を卒業した者であつて、2年以上児童福祉事業に従事した者。⑤ 3年以上児童福祉事業に従事した者であつて厚生労働大臣または都道府県知事が適当と認定した者。具体的な進路としては、4年制の福祉系大学を卒業するか、大学で、心理学、教育学、社会学を専攻し、児童指導員任用資格を取得することが一般的。
- 保育士(児童福祉分野) Ⅱ 児童福祉施設において児童の保育を行う者。保育士の資格が必要。

※本稿は平成30年7月にいただきました。(掲載順不同)

若松フェスティバルを開催



写真提供・昭徳会



児童養護施設・名古屋若松寮
～来場者数366人、地域に開かれた施設めざして～

毎年、10月になると若松フェスティバルの季節がやってきます。名古屋若松寮は、平成28年に名古屋から民間移管された児童養護施設で、以前は「若松寮」という名称でした。昭徳会に運営主体が代わってからは、施設名を「名古屋若松寮」に改めるとともに、「若松祭」も「若松フェスティバル」と名を改めて、今年で3回目を迎えました。

若松フェスティバルでは、日頃からお世話になっている地域の方々や、寄贈や招待などさまざまな支援をしてくださる方々への感謝の気持ちを込めて、職員や子ども達が一丸となって焼きそばなどの飲食ブースや射的などの遊びができるブースを開いています。どなたでも自由に参加でき、お金も一切いただいておりません。民間移管する以前の若松寮では、中庭を中心に子ども達が生活している建物を利用してお店を出していましたが、現在は奥まった場所にある中庭を使用せず、会場

を正門前の駐車場に移して、道を歩いている方も興味をひかれたら入りやすい、地域に開かれた雰囲気づくりに努めています。

また、以前は施設の子ども達がダンスを発表したり、地域のおよこいチームの方に来ていただいて踊りを披露していただいたりしていましたが、昭徳会に移管されてからは、まだ地域とのつながりが浅いことや、力不足という点からフェスティバルのオープニングやエンディングにボランティアの方に来ていただいてダンスや歌を披露してもらい、フェスティバルを盛り上げてもらっています。その一方で、飲食や創作、遊びといったブースを6つから8つに増やし、来場してくださった方々がより満足して楽しんでいただけるよう、子ども達と力を合わせておもてなしをしています。

また、名古屋若松寮に変わったことで以前の卒業生と職員の関係が切れてしまうことを防ぐために、市職員や昭徳会に変わる以前の卒業生をお招

きして「OB・OGの集い」をフェスティバルの後に行うようにしました。第2回目の昨年は、盛大な同窓会のようになり多くの卒業生が現在の名古屋若松寮に顔を出してくれました。今年は、昨年よりは人数が減っていましたが、それでも何人も卒業生達が懐かしそうに会食する光景が見られました。

実は諸事情により今年度から駐車場スペースがなくなってしまうため、来場者への影響が懸念されてきました。ですが、今年の若松フェスティバルの来場者数は366人と、昨年の301人を超える人数となりました。この数字を励みに、来年・再来年と、地域に開かれたより良い祭りとなるよう、今後も職員と子ども一同、力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

児童養護施設・名古屋若松寮

児童指導員 安藤 香苗

日本福祉大学付属高等学校創立60周年記念式典

日本福祉大学付属高等学校



写真提供・日本福祉大学付属高等学校

本校は1958年、「日本福祉大学附属立花高等学校」として、大学と同一校地（名古屋市昭和区）に創立されました。1982年には大学に先駆けて美浜町に移転しました。これまでに各界各地で活躍する一万四千名余りの卒業生を送り出してまいりました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と、改めて衷心より感謝申し上げます。

10月12日（金）東海市芸術劇場において、創立60周年記念式典を執り行いました。和太鼓部の演奏で開会し、ご来賓の方々からのご祝辞に続き、生徒代表が誓いの言葉を述べました。

式典に続いては、映画『世界で一番長い写真』の上映会を行いました。この映画は、本学で実際にあった話を題材にした青春映画で、今年6月全国で公開されました。映画のロケは、昨年夏に本校と知多半島で行われ、生徒の多くが撮影にも参加しました。上映に先立ち、原作者である小説家菅田哲也氏と、監督の草野翔吾氏にもご登壇いただき、この映画や知多半島の魅力について語っていただきました。

本校は今、「どの子も伸ばす」を合言葉に学校改革に取り組んでいます。改革の歩みはまだ始まったばかりであり、その成果もごく初歩的なものですが、創立60周年を機に、建学の精神に言う『わが人類のために自己を捧げることを惜しまぬ志の人を、現実の社会に送り出したいのであります』の一偈を今一度心に銘じ、さらに精進してまいりたいと決意しております。今後より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本福祉大学付属高等学校 校長 岩本憲之

誓いの言葉

「我が如く等しくして異なること無からしめん」

創立者・鈴木修学先生はまさにこの言葉の通りに生きられた人でした。昭和の初め、社会の強い差別と偏見に苦しんでいたハンセン病の人達と寝食をともにし、「普通の人として生きたい」という願いをかなえようとされました。戦争直後には、戦争で親を亡くした子ども達や障害を持つ子ども達の間には、「父」となり、我が子のように彼らを育てられました。「どの子にも必ず良いところがある」―修学先生の足跡は、「人間の尊厳を大切にすること」をいつも私達に教えてくださいます。



今年の8月、私達の付属高校は、ユネスコスクールに認定されました。ユネスコスクールとは、平和や国際的な連携を实践する、その拠点となる学校です。環境・貧困・人権・開発といったさまざまな地球規模の課題を自分のこととしてとらえ、探究を深め、解決に向けて行動を起こす力を身につけることが求められます。

す。グローバルな視点で人間と社会の課題を考えるのは、私達にとって簡単なことではありません。しかし、21世紀を生きていく人間として、豊かで平和な未来を創り上げるためには、極めて大切な学習だと思っています。その勉強は、修学先生のお考えの中心にあった「人間の尊厳を大切にすること」にまっすぐにつながるものだととらえ直しました。修学先生の教えに学び、学習を深めていきたい、ひと回り広い視野を持った人間に成長したいと考えています。

こんなにも大勢のご来賓をお迎えし、60周年記念式典が行われるその時に、付属高校の生徒であったことを心からうれしく思っています。足をお運びいただき、本当にありがとうございます。

「修学先生は高校のことが大好きだったんだよ」現在の学園長・鈴木正修先生が修学先生を紹介される時のお言葉です。そのようなあなたかな視線の中で歴史を紡いできた高校の一員であることを誇りに思います。

高校創立60周年。この喜びと誇りを胸に刻みます。そして、「つなぐ・ささえる・やり遂げる」力を持った人間として成長していきます。未来社会を担う、自律したリーダーに成長できるよう、真剣な学びを重ねていきます。

2018年10月12日

生徒代表 石田 理佳（3年）

幸せを育てる漫画『ひまわり』 待望の単行本化！

月刊法音で連載中の漫画『ひまわり』の第一巻。

こんなとき、蓮くんたちは、どうしただろう？
読者の成長とともに、新たな発見があります。

監修／鈴木正修 作画／竹中 淳

すずき出版 刊 定価 1,000 円(税別)



法音寺のパンフレットが できました

多くの方に法音寺を知っていただくために
お使いいただけます。

掲載内容

心に寄り添うお寺と仏教 … 仏教とは？ お寺とは？
信仰と福祉のお寺 … 法音寺の理念・歴史のご紹介
仏教福祉と社会貢献活動 … 福祉事業・教育のご紹介
法音寺とのお付き合い … 年間行事・日々の活動・供養のこと
法音寺のご案内 … 支院一覧・関連書籍・ホームページ等



ぜひご活用ください

あなたも 法音寺メールマガジンに 登録してみませんか？

このたび法音寺では新たなメールマガジンの無料配信
サービスを開始することになりました。毎週火曜日の
朝7時に、山首上人のみ教えや毎月の予定、人に
やさしく生きていくための
コツなどを配信します。

メールマガジン登録フォームはこちら ▶▶



幸せの種まき 感謝と親切

私達は、生きる上で

大勢の方のお世話になっています

自分に縁のある人を

喜ばせていきましよう

身近にいる人を、立場を通して、仕事を通して

喜ばせましよう

大乗山 法音寺

編集後記

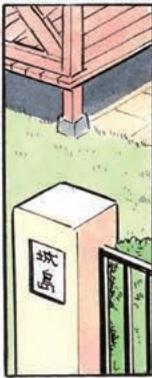
今年も早いもので残り一カ月。この一年を振り返ると、日本列島は例年以上に地震や台風などの自然災害に襲われました。また「平成最後の…」という言葉が、あちらこちらでよく使われました。『法音』読者の皆さまはどのような一年だったでしょうか？ 私達は日々さまざまな人々に出会い、いろいろな出来事にふれることで揺れ動く感情を「慈悲・至誠・堪忍」の三徳でコントロールしながら生活しています。もし、この教えに出会えていなかったら…と考えると、本当にありがたいことだと思えます。

さて、今月号22頁にも広告を掲載いたしました。が、来年の修養手帳が発売開始となりました。内容も一新されていますが、特に注目すべきは表紙です。〃一体何の傘だろう…?〃と思われる方も、おそらくいらつしやるでしょう。実は、三徳開教百十年・御開山会における稚児行列で山首上人さまの日除けとして使用された大傘の写真とのこと。手帳を手にされる方々は、日々、自分達は山首上人さまの傘の下でご守護いただいている〃と思ってお使いになるのではないのでしょうか。修養手帳とともに『法音』も読者の皆さまの新たな一年のペースメーカーをめざしたいと思えます。

ジョンの思い出

竹中 淳











蓮れんのこころの中なか！

天国てんごくだよ…あと
ここにもいるよ



そしたら急にきゅうに
悲かなしくなってきた…
ばあちゃん…
じいちゃんは何なにどこ？



すると背せ中のあたりが
ホンワカあったかくな
ってき…



目めをつむって
じいちゃんとおも
遊あそんだ時のこと…
思い出おもだしてごらん



じいちゃんはおも
楽しい話わをして
いっしょに
遊あそんでくれた

そこはじいちゃんのお
アグラの上うで



絶対ぜったい忘わすれないよ

うん ボク
じいちゃんのこと
大好きだいすきだもん



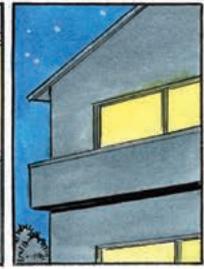
いつだって
会あえるんだよ

ねっ
おまえの心こころの中に
じいちゃんはいて
いつまでも
憶おぼえていれば



こうすれば
いつでも
会えるんだ

ボク 今^{いま}でも
じいちゃんに
会いたくなったら



ごめんな
ジョン
つらくてもおまえのこと
忘れないよ



あら城島^{じょうじま}くん
元気^{げんき}になった
ようね!
じゃ 読^よんで!



はい!



宿題^{しゅどめい}の作文^{さくぶん}
だれか発表^{はつひょう}
してくれる?

ボクとジョン
 犬のジョンはボクと
 大の仲よしです
 でも突然ジョンは
 天国にいつてしまいました



悲しくてつらくて
 ボクはジョンを忘れようと思いました
 でもそれはまちがいだと
 友達が気づかせてくれたのです
 どんなに悲しくても
 ジョンのことを忘れたら
 もう可愛がつてやれないからです



ボクの心の中には
 いつもジョンがいて
 ジョンのことを想えば
 いつだってジョンと
 遊ぶことができます



ジョンもぎっと
 喜んでると
 おも
 思うよ



とても心の
 こもった作文ね
 ありがとう

おしまい

書籍のご紹介

法音寺を
知りたい方へ



戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語上・中・下』

法音寺広報委員会 企画

中央法規出版刊

B5版 平均九六頁総カラゝ

定価各巻一、〇〇〇円(税別)

法音寺の教えを
学びたい方へ



現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三四五頁

定価一、〇〇〇円(税込)



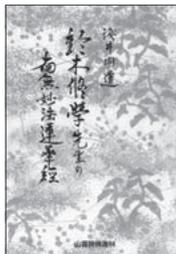
続現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三五二頁

定価一、〇〇〇円(税込)

仏教を
学びたい方へ



鈴木修学先生の
南無妙法蓮華經

浅井圓道著

山喜房佛書林刊

四六判/二百二頁

定価一、八一四円(税込)



妙法蓮華經略義

鈴木修学著

青山書院刊

A5版/八六三頁

定価六、〇〇〇円(税込)

福祉を
学びたい方へ



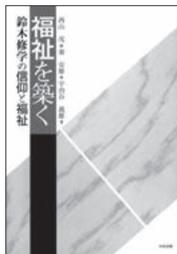
日本の福祉を築いた
お坊さん

星野貞一郎著

中央法規出版刊

A6版/一六八頁

定価八六四円(税込)



福祉を築く

西山茂・秦安雄／
宇治谷義雄著

中央法規出版刊

A5版/二二三頁

定価三、六二八円(税込)



知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市長和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
http://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分



法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

■児童養護施設

駒方寮
名古屋養育院
名古屋若松寮

■障がい児入所施設

小原学園

■障がい者支援施設

小原寮
泰山寮

■特別養護老人ホーム

安立荘
高浜安立荘
小原安立

■障がい福祉サービス事業

授産所 高浜安立

■軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

ケアハウス 高浜安立

■軽費老人ホーム

ケアハウス 大阪安立

■養護老人ホーム

養護老人ホーム 高浜安立

■自立援助ホーム

慈か 泉り 寮ん

■保育所

駒方保育園
光徳保育園
天王保保育園

法人本部 〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10 TEL (052) 831-5171
http://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

■日本福祉大学大学院

■日本福祉大学

■日本福祉大学中央福祉専門学校

■日本福祉大学附属高等学校

法人本部 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6 TEL (0569) 87-2211
http://www.n-fukushi.ac.jp

法音・平成30年12月号・No.590・平成30年12月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社